

平成28年度第4回名張市快適環境審議会会議録（概要）

1. 開催日時 平成28年11月30日（木） 午前10時から午後0時

2. 開催場所 名張市役所2階庁議室

3. 出席者

委員 朴 恵淑

辻森 保藏

椿原 礼子

福田 尚子

福廣 勝介

山本 佳也

事務局 環境対策室長 猪田 徹

環境対策室 足立 和美

環境対策室 藤井 奈保子

4. 欠席者

委員 加藤 進

田畑 博

清水 敏代

5. 内容

(1) あいさつ

(2) (仮称) 第三次なばり快適環境プランについて

①修正案及び答申の説明

②修正案及び答申についての審議

(3) その他

平成28年度第4回名張市快適環境審議会会議録（概要）

(1) あいさつ

○会長

皆様おはようございます。まず今回は変則的な会議として、何よりすごく満足しているのは、普通今まででしたら、回数とかもある程度決められていた中でやって行く事になるので、大体ここまで来たら上手く会長に会長と事務局委ねてお願いしなすと言う感じで終わっても良かったんですよ。ですが、そこをせずにもう一度集まると言う事は委員さんのもう大変だけれども市もちょっとお金とか厳しい体制の中で思わぬ出費がちょっと出たかとも言う事もあるんですが、それだけここを第三次なばり快適環境プランに関する思いが強いと言う事なので、皆様の熱心なご議論をよろしくお願ひしたいと思ひます。それで、今日、こう変則的な事なので参加出来ない委員さんが3人おると言う事でありましたけれど1件は意見を頂いたと言う事でありました。それを踏まえて前回と比べて、どこがどう言う風にまたちよつとこう変わっていたのか、そのままなのか、色んな形でちよつと動いていたと思ひますので事務局の方から説明頂いて、皆さんの意見を承りますのでよろしくお願ひします。

(2) (仮称) 第三次なばり快適環境プランの審議について

①修正案及び答申の説明

○事務局

素案の修正案ですが、表紙につきましては、キャッチコピーを追加したものを作成しました。候補を3つ作成しましたので、またご意見をいただけたらと思います。

○会長

こちらにつきましては、最後に裏表紙とともに議論しましょう。

○事務局

細かな誤植の修正と写真のレイアウトの修正をいたしました。4ページのキャッチコピーの表示の一部を修正しました。前回の審議会で、ご指摘いただいた13ページの環境教育の推進のところで「身につけさせる」から「身につける上で」に修正しました。15ページにつきましては、「定着させる」→「定着していく」へ変更しました。19ページにつきまして「影響を」という文言を追加しました。また各目標項目において、数値根拠の再確認を行う中で、一部現状値・目標値の数値の見直しを行いました。また、54ページにおいてパブリックコメントの意見を反映いたしました。64ページについて、前回審議会意見を反映いたしました。

②修正案及び答申についての審議

○会長

ありがとうございました。では、時間が限られている中で一番今大事な部分は、細かい所がどう変わったかと言うのは極端な話、また見れば見るほど出てくるものだからそれはそれで良い事にして、一番前回から感じてのが、色んな目標値が出てくる中でその目標値が出てくる根拠とかどう言う仕法でどう言う位置づけで出て来たのか、それが本当に的確になるほどと思われるものなのか、一番厳しいものだったんですけれども、それをもう一度見たいと考えてみたいと言う事一番大きい一つだったのではないかと思います。それについてはみなさんいかがでしょうか。色んな項目と数値目標、議論する必要全くないんですけども、どうでしょうか。

ほかに皆さんの意見を頂きたいと思うのが、ここの答申の「案」というものは16日で取れる事なるのですが、この2の所で「なお各政策項目における目標項目のなかで、市は1例として捉えて頂きたい。」という部分ですが、これでは、意味が分かりません。これどう言う意味なのか。これは逃げようとしている事なのかこれはもう我々が目標項目でやって目標値を掲げた以上やれよって言う事なのか。あと環境の基本の基本なのに、「なお、…市の1例」ですか。これはここまで書く必要があるのでしょうか。

○委員

多分、これは僕が書かしてもらった意見です。これをコピーしといてもらった方が良かったんですけども、僕、朴先生の上に加筆するなんてって大それた事をしてないんですけども、

僕は言いたかったんはですね、いかにもば一っと総論としてええ事書いてあってですね、極めてこの環境目標、1行2行とかになると他には無いのかとか。あるいは各項目でもね。それから無いのかと。で、その数値根拠もまあはっきりせえへんと言うのでですね、これをここに書いたのはこれだけ読んだら極めて矮小化される様な話が多いんで、ここに書いたのごく一部、1例ですよと言う表現をして欲しいと言う風に僕はちょっと書いたんです。

○会長

ただここをこう言う風を書くかどうかと思います。これだけ書くとみんな分かっています。市は一体何百何千とやっていくんだと言う事は、その中で特にこの部分に関してはこうやって行くんだと意思表示だろうと言う風に思われるから、重いので、そこ1例に過ぎないみたいなニュアンス持たせると厳しいものがあるんですね。

○委員

僕は事務局の助っ人してるんですけども、僕は書いたことを考慮してくれたんやとは思ってます。僕は各項目にある目標項目、僕の数値はこれだけではなく例示として捉えて頂きたいと言う風に答申者の事も表に書こうと言う風に提案してしもたもんですから。

○会長

なるほど。では、この辺をちょっとここで議論しましょう。だからこそもう一回集まったのがここなんですけれども、他に項目に載らないものはやらなくて良いですか？と言う事を意見をくださった委員さんも「違う、全部やるんだよ」と。だけれども、その中で特にあるいは名張市の特徴活かしたなんじゃらとして、こう言う事をやるぞと言う事で上げるんだと言うのはある意味ではみんな分かっている。その事を敢えてここで1例だつて言う事で、あ～、これはもう目標値達成しなくてもしょうがないか。もうあるいはどうなんだと言う風にこう根幹が揺れる事になります。なので、このみそやと言う風に言うんだつたらあれだけれども、もしそう言う事であるならば、あっさり目標値も全く無い感じでみんなが目標値作ってやって行くのが、ここはものすごく私は悩んでいる所であって、どうしようってこれが前回からずうっと尾をひくものなんですね。ちょっと皆さんどう思われますか。

○委員

ですから、要は目標項目って言うのはここに特出ししてるんだけれども、本当はもっといっぱいあるんだけれども、全部書けないんで、とりあえず特出ししてこれを書いてると。だから、このその答申のところに書くのであれば例えば、各章、各項目の事に関連性を意識する事によって総合的な視点を持って計画的な実行に詰めて頂き、各政策項目、目標項目は必ず例えば達成出来る様努力して頂きたいとかね。少なくともこれは書いてあるのは市が目標として出している訳だから。

○会長

それで、ただ私はすごい言いたいんですけども市はどうですか。必ず達成出来る。

○委員

まあそこはもう努力と言う事でね、逃げてても良いとは思いますが。

○会長

努力。そう。出来る、達成出来るよう努めて頂きたいとか何とかしたいって言う感じでや
って行かないと私から見るとでら〜としてる目標もあるんですよ。で、野心的な目標も
あるけれどもえ〜って言うようなものもあって、何で5年間で5つしか5パーセント、1
年に1パーセントずつ上がるんだったら別に GDP じゃあるまいし何がこんなに難しいのよ
と思う所のものもある中で、ある中では色んな理由、事情が出てきたもんだから、だから
私もそこをちょっとこうあって、要するに達成出来るように努めてもらいたいと言う様な
形にちょっと切り替える事によって、二人の言ってる分が言えるんじゃないかと思ます。
ここをあんまり素直に書き過ぎちゃって1例に過ぎないみたいな事を自分の口で言ってる
ような気がして。

○委員

僕は過ぎないと言うた訳ではないんですけども。1例でしかない。

○会長

1例として捉えて頂きたいって言ったらこれがこうなるんですよ。

○委員

だから少なくともこれは市がこれはやりますって言う目標値を定めたんだからこれは少な
くとも達成、少なくともこれは達成してもらわんと困りますよと言う事なんですよ。

○委員

で、これについてはあくまでこれに対してのこの審議会からの答申だから最終的には。そ
の辺はやっぱり必要かなと

○委員

それで、その話ですけどね。答申書の表に書くだけではなくてこれは一般の人には分から
ないですねえ。それで、この本文の頭の方の中にそのコメントが上手い事、同じものを入
れられへんかなあと思うんですけどね。

○会長

あつ。それは出来ます。と言うのは例えばこれは色んなやり方あって印刷なりあるいは、
印刷お金かかるから、載せる時にこれが今最終的なものには裏にこれを付けてやっていく
と言う。それが出来ますのでこれは活きます。

○事務局

最終のプランにつきましては当然この答申書、諮問書、答申書それから各委員さんのメモ
会議の開催ですとかちょっとそう言ったものも含めて全て入れさせていただきます。

○会長

後ろに付録みたいになりますよね。

○委員

もっと言うたらね、初めて目標値の出てくる11ページの所にですね、目標項目の注釈を入れてもええかも分かりませんがね。

○会長

でも、ちょっとごめんね。これ結構重いんですよ。諮問を受けて答申をしてこれ何十ページもあるもの全部読まなくてもこれを見たら大体、魂はどこにあるの？って言う、ここには結構重いものでありますので、市長はもらった以上を実行する義務がある訳でありますので、ここで書くと今言った様に本当に目標達成しろよと言う事で書くとこれとほぼ、ほぼ同じ様な義務が発生すると言うの思われるので良いと思います。ここに書くとかえってまたどう言う事が起きるかと言うと、じゃあ提示しなかったものは何や？例えばたくさんやることはあるけれども、それを出せよとそれがここに足さなかったらじゃあやらなくて良いの？と言う風に逆に逆を読む人もいる訳でしょうから厳しいんです。だから全ての所に全部こう特権を付ける様な形にしないようにするよりこう言う所でカチッとこうやっての方が全体的なものから見ると義務として発生するんじゃないかと思います。

○委員

同じ表現にするかどうかは別にしましてね、僕が気にしているのは市民の中なんかにはこの表とセットではなくてこれだけ一人歩きせえへんかと言う。

○会長

けど、基本計画だから。これ基本計画は環境に関する憲法ですのでもう、これをやるぞと言う事なんです。

○委員

いえ。ですから、答申書の表にはそう書いてあってもこいつだけ一人歩きすると市民さんがこれを読んだ時に何やこんな目標ふたつ書いてあるだけやなあとか思わんかなあ？と言うのでこの本編に入らんか？と言う事を心配しています。

○会長

市民はこれ基本計画の重みが分からないと失格ですね、まず。これは例えばアクションプログラムとかは達成しなかったら見直しをすれば良いんですわ。で、基本計画はまあ何年後とか時代が変わったりどうしても達成出来なさそうな何かがあったりとした時に見直しするんだけど、見直しをする間まではこの基本計画、環境基本計画は環境に関する基本的な部分ですし例えば市の総合計画は何であんなに大事かと言うと市のブランドデザインとしてあれが憲法みたいな物として動くからなんですね。そこはもう分かってくれないと成熟した市民社会だとは言えない。

○委員

いや、何度も言うんですけどそれを承知の上で言うてるんですけど、それだけの憲法ならパッと見てあっ！良い目標矮小化された小さい項目ふたつしかないなあと思うから、ここにもっと本当はあるんやと言う事をどっかに書かんでええんかな？と言う事を言ってるんですね。

○会長

いや、そこいちいち書いたら例題なきあれがないけれども、そこまでやったら名張市民意識は10年20年遅れているとしか言いようがない。そう言う風に思いたくないなと思いますね。それで、そこをやっていく為にちょっとひとつまた目標値がどうかと言う事を最後の精査が必要なんですけれども、9ページの所、私前からずうっと気になっていたんですけれども、ここが委員さんがおっしゃられる様な所にも繋がっていくのだと思います。9ページの一番右側に三位一体の市民と行政と事業所の所で◎、普通の太丸と言うか○、これいるの？と言うことを前からずうっと考えています。これを◎じゃなかったら、えー、じゃ行政がやれよとか。本当は全部◎なんですよ。若干盛ったのがあるけれど、ここにあるもの全部やらなきゃならないものです。そこを敢えて何で市が他の市町でないような事をこう○○○◎○とかそういう事を何で付けるの？と思え、意味が分かりません。これだけしてたらこれ大変な事になります。

○委員

そもそもこれも僕の発案なんですけどね。僕がまた逆読みをしましてね。そしたらあっこれは誰かやってくれるんやろうと思って。例えば市民は上から二つ目のやつやったらきつと誰かやってくれるんやろう。あっ事業者がやってくれたら良いやんと言う風に思っしもたらいかんで、あんたもやらんんでって言うでこの表を付けたかったと言うのが、逆なんですよね。一番◎打ったとこだけでええと言う意味で書きたかったんじゃないで。

○会長

もしそうだとすれば、生活環境保全の真ん中辺りの①②は環境美化活動の推進も何で行政だけが◎なるの？ゴミ拾いぐらい何拾うのぐらいみんなですれよとそこを考えてやってみるとみんな◎なるんですよ。そうだとするならば書かなくても良いんじゃないの？と言う、敢えてって事なんです。結果的に深くつめていけば全部◎なる。みんなが要するに市民に支えられた行政で。

○委員

当初提案降ります。

○会長

いやいやいや、ちよつともう一度ちよつと考えましょう。それで、ここを良からうとしてる物だからこれをどうやって活かすのか？と。見ていたら、全部だけどその中で要するに全部やるんだけど、要するにどこが主体でやるの？と言う多分主体の所で◎と言う

事だったんじゃないかなあ？と言う気がするんですが、今のままやってこれこそ、ここ◎主体的な立場を取ると言う事だけれど、じゃあ環境美化活動は行政が主体的に取らないと他の事業者と市民はやらないの？付いて行けば良いの？と言う事ではないだろうとなってくると本来素晴らしかった目的がここに出てくると厳しくなってくる。全部◎つけるのも変だし、ならば思い切っていない方が言えるのかなあ？と言うこれ最後の選択ちょっと厳しい所で申し訳ないけどこの部分はちょっと行政としてどう思っているんですでしょうか。

○委員

いや、私前回ここで言えへんかったんですけどもそこもやっぱりちょっと気になっている所でね。主体的な立場を取って下にこう書いてある訳ですよ。◎。で、主体的な立場を取って書いてあるのに全部に主体的な立場を取って書いてあるとこれ一体誰がやるの？と言う事になってしまうんですよ。で、本当にその濃淡をつけてどこが音頭を取ってやりましょうって言うんであればどこか一箇所例えば◎で私は良いと思うんですよ。そこはイニシアティブ取って引っ張って行きますよと。それで良いんだと思うんですけども、今、会長がおっしゃる様にそうしたらどこかがやってくれるんだたらうちは別にやらなくてもええのかって言う意見も当然出て来る訳なんです。だからここは非常に難しい所で、いかに◎ついた所が特に住民が例えば◎ついたら住民がイニシアティブ取ってこうやって行くって非常に難しいと言えれば難しいんですよ。やっぱどうしても行政がこう旗振りになってやって行かざるを得ない所があると思うんで、少なくとも三つとも私は◎がつくって言うのはおかしいと言う風には感じてるんです。だから、行政でも環境でもどの項目でも要するに当然主体は分かるんですけど、根底は共同のまちづくりなんですよ。その精神に則ったら当然、それは色んな方見えるけど基本的精神は行政、住民、当然企業体も含めて名張市の共同、共同の中での事を多分言いたい。その中で誰が旗を振るんかと。それで、旗を振るのはまずそこはそしたら失礼だけど、私、何回かこう見逃してますんで全て。そう言う意味ではまあ外すつといたら、申し訳ないですけど、ここは取っても良いんじゃないでしょうか。

○会長

私もそう思うのがここにあれが大変有難い事に何の役割、何の役割、何の役割と言う風に全体で書いてあるのではないのでしょうか。それで、それを見るとここに◎じゃなくても、名張市の市民だったらこれやろうかとかそういう事が出て来て良いんじゃないかと。敢えてここで決めつけてここは市が何やって言う風にやっていく小学生に教える様な感じみたいな感じがして、だからこれはあっさりちょっと取って行ってその本刷の各論に入った時に何の役割、何の役割、何の役割、何の役割、結果的にはオール名張でやるんだと言う事が分かれば良いので、そうなれば◎要らないんじゃないかと思います。

○委員

あの、僕が提案降りますっちゃうんですが、降りる前の説明をもう一回さしてもらいたい。はっきり言うんですよ。5ページのこの絵あったので、ええと言えええんですよ。この市民と事業者と行政との関係を表に書いてる。ええって言うたらええねんけどもさっきの表に戻りますとね、僕は◎をむしろ意識したのではなくて。さっきちょっと言いまし

たけども。あれ細かいのを見ますとね、ごみの減量化対策でも細かく項目上げたらやっぱり全部○ではなくてこれ行政主体のもんであるとか、規制であるとかね。そんなんも当然出て来る訳ですよ。それで、細かいの見たら◎○、ひょっとしたら△もあるか分らんねけど出て来ると思うんです。僕がこの辺表現いつも、諸刃の剣なんやけども、白マルあるでって二番目の事業者による活動の推進に事業者がやったらあんた市民もみんな乗ってやっちゅうて白マル、僕はこれを言いたかったんですね。むしろ主体よりもあんたもせなあかんねでと言うのを行政任せではあかんでと言うのを言いたかった。ほんで市民による活動は行政黙とったらごみ入れの市民がやってくれるから行政は後から市長が挨拶に来たらええだけではあかんでと言うのを言いたかった訳ですね。

○会長

良く分かります。ならばこの○の表示については、辞めましょう。どう言う事かと言うと事業者による活動の推進だったら事業者が◎なのは当たり前です。それで、後市民と行政って言う二つのセクターは協力する。これはもう言うまでもないじゃないですか？

○委員

これに代表されたんです。これで精神謳ってるんだから。

○委員

いや、ほんで僕が言いたかったのはそういう事であると言う事を知って頂いて提案を降ります。

○会長

分かりました。

○委員

あの良いですか。このページ全体の流れを見ると、最初にこう環境像があって目標があって基本的方向がが一つとこう矢印でありますよね。それで、具体的に政策項目があって、で、今の◎◎のどこに来るんですけども、そうしたらここに最後に計画の推進体制みたいな事で最終的に今おっしゃった様な本計画を推進する為には三位がそれぞれ役割を果たすと共にと言う風に縦に入れるって言うのがどうでしょうか。縦にこう言う形で、この政策の流れがこう目標があって政策があってと言う事で。で、最後にはみんなで作りますよって言うことにしましょう。

○会長

素晴らしい。最初にご提案いただいた委員さんどうですか。

○委員

良いですね。

○会長

救われました。素晴らしい。それでここに縦でこう補って。素晴らしい。だったらみんながウィンウィンです。

○委員

素晴らしい。あの、今言われたのですがこれなくしてこの上で基本的な教訓と言う事を一言入れたら、もう縦に。

○会長

そうそう。こう縦の方が引き締まる。こっちの縦、こっちの縦で。オッケー。いやあ。素晴らしい。

そのデザインの話にもなって、良い流れで有難いのが、この5ページの3つのトラックの形について、それと逆三角形はちょっと不安定に感じるので、上が市民があつて両方に事業者と行政があつて三角形になるとすごくパワーがますので、それをこれを逆さにして行政と事業者と言う風にして頂ければ。

○事務局

このプランの当然個別計画にあたるアクションプログラムでトラックがそのような形になっており、当然、プランに応じてアクションプログラムに出しますので、逆にこっちの方が適切かと思えます。

○会長

なるほど。じゃ例えばちょっと逆三角形じゃなく正三角形みたいな感じでちょっと。

○委員

で、市民これと同じで市民が上に来ると。要するに。

○事務局

大きさはよろしいですか。

○会長

もちろん。だから私は三位一帯。そこでですね、もう一つ。

○委員

裏のページこれ全部してしもてええぐらいやな。

○会長

それはちょっと考えましようね。で、ここをちょっと私ですね、6ページ、カラーの時には気が付かなかったけど今こう白黒で見たらちょっと汚らしい。ここに文字にかからない様にちょっと下におろして頂ければ。

○委員

先程のおっしゃって頂いてた事の中で目標項目の件なんですけど各ページに入っている。例えばそのそれぞれの役割で何をしますって言う風な文言が事業者の役割とか行政の役割等が入ってる中で目標項目があるので、その例えば二つある所や一つある所があるんですけども、例えば重点、目標項目とか何だかその目標、この中の一つこの目標項目をまずはみんなでやりましょうみたいな表現にはそれはちょっと私も今までの流れ等があれなので。

○会長

おっしゃる通りなんですよ。

○委員

だからそう言う表記をする事はどうなんでしょう？と言う風なちょっとお尋ねですが。

○会長

おっしゃる通りなんですけどね、物理的にちょっと制限が幾つかありました。本当に絶対要らないって言ってないけれどもなかなか定量化措置でやりにくいと言うものとか、それからどこまで目標値を上げれば本当に絵に描いた餅じゃなく実際になるのかという所、あと数年後とかなかなか読めない物もあって、どうなのこうなのと言うのは本当に大変でした。それで、そう言うものの中からこの目標項目が本当に基に基の基の基になる様なものなのと言うことが正直にちょっと言えない部分ある。だからこれ、おっしゃる通りで市民が見るとおおっこれ大変重点項目で大事だあと。

○委員

やっぱりこう会議でこう何て言うんですか、ある程度全体が分かってる方とそれとこうやって見た時にこの市民の役割はこうで事業者でこうでってそれぞれ幾つかある中の事をあつて行くんだなあとか解釈した上で、重点、あの目標項目があつて、あつその中のこれがまあ一番力を入れてるんだなあと言う風に理解して、こうパッと各ページを見てそれぞれの立場から、じゃあ私からこうしようと言うものが持ってもらえるのであれば、ここが目立ってしまいますので、このそれぞれのこう沢山書いてある項目がある中で、なのでその中の先ほどおっしゃられた一つってなってしまうのであれば、特に今計画の中で力の入れている目標であるとかそう言う事が分かったらどうかしら？と言う風な事を思わせて頂いたんですが、でも色々これまでされて来た中で。

○会長

いやあ。大事な部分ですよ。そこがちょっと説明責任果たす所をどう？と言う事だから一例がと言う感じでいってるそう言う流れになっているんですが。市は説明責任果たせますか。

○事務局

目標項目に関してはひとつの項目で他部署に渡っている物があるのでこれ一つを重点項目にしてしまいますとしてしまいますと他の室は手抜いて良いのか？と言う風な市になりか

ねないって言うのもあるので、もしやるとしたら行政の役割の方でとかならなるのではないかと思うんですけどそこも各部署渡っております。この項目で行政の役割でこれに重点を置きますと言う書きの方が目標項目よりも良いのではないかと思います。

○委員

その目標項目に出て来ているその項目が色々あるんですけどもなぜそれが出て来たのかと言うのがあるんですよ。で、色々その市民の役割、事業者の役割、行政の役割ってあって数値的に目標書けるの多分行政の役割の中でのやつしか書けないと思うんです。で、その中でも特出ししている項目があってなぜこれだけが出てきたのかって言うのが良くは分からないんですけども、良くは分からないんですけどもまあ何か数字目標がないと達成感がないと言うのかそう言うのがあって出されていると思うんですけど。

○委員

総論口だけやみたいに思われたらあかんで。

○委員

そうそう。だから例えばこれが中間目標値の33年にはどれだけ達成出来ましたよとか言える何か指標として、目に見えるね、指標としてこう言うのを出されているんかと思うんですけども。

○委員

ところが先ほど言った様に急にだあっと書いて、あれ？えっ？て急にこんな話になってしまったと言う矮小化されて軽い感じがするからついつい思ってしまうですよ。

○会長

目標項目と言う目標と言う意味をどう考えれば良いんでしょうか。そうすると多分。

○委員

ただ例えばね目標項目と言う風に目標項目とするんじゃなしに例えば具体的な数値目標とかね。

○事務局

総合計画理想郷プランでの記載は成果資料、指標項目と言う表現になっております。これに準じて記載しています。

○会長

それはもう本当に行政の王道的な事でそれは間違いないですよ。それだから、だから大事なもので、そこからどんなに環境が頑張ってもそれはちょっと別だからあれなんだけど、理想郷プランではどう言う項目になっていましたか。環境に関して、ここにムラ出来てますか。

○事務局

ごみの所であれば全て入っています。ごみが、42ページ、家庭環境プラン42ページで1人当たり、1日1人当たりごみ排出量です。これと後43ページのごみ減量・分別・資源化を実施している割合、これ今1種の意識調査ですけどもこの項目の採用をここへプランにも同様に上がっています。それとあとですね。

○会長

ちょっとすいません。理想郷プランのごみが今は平成26年が731gなんだけど12年も経った後のあれが720しかないんですか。例えば680とかそういうものじゃなくてですか。あり得ませんわ。名張は今三重県に1位ですよ。トップランナーです。トップランナーなのに、このまま上がってたら他の所は今名張を見て今は今もう猛烈にやっているのでビリになっちゃいますよ。720は本当ですか。12年間かけて11gとか1年に1g減らすと言う目標立てているんですけど。ここが1人当たり、1日1人当たりごみの排出量が平成26年が731gで平成38年に720gじゃないですか。だから1人が1年に1gずつ減らすんだと言う計算じゃないですか。1日当たり。だから1年かけて1日1gずつずつうっとやれよと言う事で、1年370g減らすみたいに思われるけど10年かけてですよ。卵5つ分だけしか減らしませんか、皆さんと言う事なんですよ。これおかしいでしょう。リサイクルに回したりリユースにしたりもうチップ化したりなんじやらしたり色々上手くやった物だと言うのがちょっと私も前から言いたい事いっぱいあったけれども、別に真ん中いい加減になりますよ。もう名張はごみ先進どころじゃないですわ。もう。今他の所はもう540とかは欧米以上に行くんだと言ってヨーロッパ以上に行くんだと言ってやってる所がある中で、今名張をターゲットにしてやってるのにこれは何を言ってるの。

○委員

最終回になって委員長は言うのも同調してやってもわらんと。これ、ごみの減量で言うたら、我が家は生ごみは全部畑とか言ってるんです。あれもごみの概念ですか。あれは資源かも分からんと言う事から言うたらごみって言うのは何やちゅうのからぼちぼち書かなあかんちゃうかと言う気もするんです。それからもう一つ、たまたまですけど次のページみたいなのでごみの分別なんか実施してる市民の割合って市民の皆さんに通りがかりの人に順番に聞いてあんた実施してるって言うたら「うん」言う人もおるし。

○会長

あれは今100パーセントではないですか。今名張の市民はごみを分けなくて出す人いますか。

○委員

多分この数字は各自治会が分別収集各地にしてるから、その辺の部分もあると思います。だからそういう数値から来てるん違いますか。

○事務局

これは市民意識調査の結果です。

○委員

ああっ。だからしてない、自分ではしてないって人もいてると言う風ですね。

○事務局

だから100パーセントでは決してないです。

○会長

でも、例えば名張に住んでいてってごみを何でもかんでもぐちゃぐちゃ入れて捨てる人いますか。

○委員

捨てるを得ない人はいますね。高齢者なんかはやっぱりもう分別が出来なくなってそのままどーんって出すと言う状態。

○会長

でもどなたかが手伝うということはないでしょうか。

○委員

そこまでまだ回ってないですね。

○会長

パトロールとかあれば助け隊とか何とかなかったでしょうか。

○事務局

いや、ないですね。不適正排出の分に対してのパトロールです。

○委員

それで、それは44ページに現状と課題の所で書いてありますよね。

○会長

だから95パーセントはもうしょうがないかな。

○事務局

この理想郷プランに置いても1人当たりのごみの排出量が目標数値的に年1gの減と言う事で設定を常にさせてもらっています。

○会長

説明責任果たせれば良いんですけども、だからただ理想郷プランが悪いじゃなくて、その時にも環境が関わってったんじゃないですか。だって企画ばかりが色んな分野を全部しろって言う訳ないので、多分環境も関わってたはずですよ。そう言った時に何でこっちに

は快適プランとかあるので、例えば理想郷プランを載せて行く為にちょっと会議でもやりましようかと言うのがなかったのかちょっと不思議なんだけど、なのにここでアクションプログラムにはなんでこんな事言うんですか。全然、合わないじゃないですか。

○事務局

現実の話ちょっと説明させてもらいますと現実ごみの総量は減って来ているんですけども、今有料化、ごみの分別が落ち着いた時点からほぼ横ばい状態です。

○会長

横ばいは良いですよ。まだトップランナーなんだから。

○事務局

ただ、目標としてはやはり高い目標を当然掲げて行く事は大事だと考えています。

○会長

だからこれはそう言う事であって、みなして私は気にしているのはこれとこれが整合性合いますかと言う事をもう一度検討してください。

○事務局

合わす様な形で作成は当然同じ部署ですものでその整合性は図らしてもらいます。

○会長

だからちょっと総量ではちょっと私自身分らないのがあるんですけど、人口規模がどう変わったのかと言う風な事もあるけれど、1人当たりって言ったなら、大体目安としては分かりますので分かりやすいのかと思っている所なのですが、上手く今までやってっただのに、後平成28年まで1日1gでずうっと行くんだと。これもなかなか厳しいよと言うならそこまでだけど、名張市はもうごみとかに関してトップランナーで走るの諦めましたと言う事を自ら宣言してる様なもんなんですよ。これ良いですかと思います。何で私こんなに固執するのか分からないけども名張を愛してるからこそだけど、1日1gでも大変だと言ったらしょうがないけれども。じゃもう一度確認です。アクションプログラムには1人当たり平成38年まで720gと言うのがちょっと私も読んだ覚えがあるけれどもちょっとそこまでは。あ、総量でやってたからちょっと分からないんだ。1人当たりがちょっと。

○事務局

アクションプログラムにつきましては向こう3年間と言う形では明確な位置づけです。

○会長

なるほどね。良い意味で、こう言う風にして後1次の3年後にとっても良くやったからちょっと良い形で見直しと言う感じで。では、そうするとですね、100パーセント満足行くものではないけれどもこの目標項目の目標をもう一度理想郷プランでは何を目標として

いたんでしたか。

○事務局

表現は目標項目ではなしに指標項目です。成果指標を指標項目ですね。目標項目のこの文字ですね。これが指標項目と言う記載です。

○会長

これは返って良いかもしれませんねえ。沢山ある支援の中でこの指標ならと言ったなら、1例と言うので、指標にしたら市は百万、1千万ある中で。

○事務局

それで逆に指標項目という表現にしない。逆にするべきものです。やはり理想郷プランをベースに、どこのどの項目も設定をされていると言う事で整合図る。

○委員

ほんでもっと言うたらこれは先生に聞いてもおいた方が良いけど指標項目と言うのは日本語にあるかなあ。指標でええんとちゃうかなあ。

○会長

そうです。それなら指標ですよ。インデックス。インデックスと言っても何回も繰り返してる様な物ですから指標が良いです。もし指標ならね。で、このプログラムにはそう言うのはなかったですよ。目標項目を指標にしましょうか。

○委員

指標が良いですねえ。

○会長

指標、オッケー。じゃ、だったら今みたい。だったらさっき迷うと言う所のこうなくても良いと言う感じでいきますので。じゃ指標。すいません。こう最後の所で結構ちょっと変わるんですがこれが魂入れる作業でしょうがないんでお願いしますね。じゃ、目標項目を指標だけにしてスッキリ。

○事務局

全ページに載せているのでちょっとこの目標項目と言うか指標が目立ってしまうって言うご意見が前回にあったので、添付資料で目標項目を付けなかったバージョンと言うのを1枚だけ付けさせてもらってるんですが、指標項目とした場合、一番最後にその具体的な指標を集めて載せますか。

○会長

いや。これはここで入れな駄目ですよ。これは見る人に後ろ見て前見てもうこれは駄目で指標でちょっと柔らかくちょっと薄めた物ですから、これに入れても全然問題ないです。

では、そうすると一番難しかった説明責任が果たせると言う形になりますね。それで、もう一つ65ページ。最初の体制の5ページの物がもう一度、もう一度載っているんですけどもこれが二度使う必要はないです。全く同じ物使うんだったら文書だけで良い。新しく例えばもう矢印があっち行ったりこっち行ったりもう強調、共同何とかと言う形で連携何とかするんだったらあれだけでも、ここの緩やかに書いているものですからこれはあったらなくても良いと言う様に思います。さて皆さんが一番今気にしている所のまた戻りますけれどもこのお顔、この部分の表裏と言う事と皆さんいかがでしょうか。

○事務局

一箇所ちょっと地球に心くばりってのが消えてしまったのですが、ある予定と考えてもらってご検討ください。

○会長

なかなか大変でしょうからこう言う風にして名張をちょっと大きくちょっと太文字にしてやってくるのもひとつの手かなあ？と思いますねえ。

○委員

名張大きい方が良いですねえ。

○会長

だから例えばここを言うのですね、縦に人に気くばりでですね、人がぶどうなんですよ。今。だからなかなか難しいもんですからここに赤目の滝ですか。ここに人に気くばり、地域に目くばり、ぐーん行って里まち、なばりだけちょっと太文字でちょっと大きく強調してやって前はこれで多分問題なく落ち着くかなあと言う気がするんですけども、裏表紙で先ほどもちょっと意見がありました。これは表を左右反対で刷っていた裏表紙だけどんなに良い物でも両方使ったら駄目なんです。使いまわしは駄目で、だから裏はあっさり前で勝負したんだから裏は何もないで、ストッピー入れるとか何とか。それでさっきちょっとチラッと委員さんから話が出たから例えば5ページの表を後ろに体制の所で同じだから入れなかったもんですから、これをここに行政のこれを入れて中に3Rの推進にストッピーちゃんとナッキーちゃんがこう踊るみたいな感じでやってやって行く、協力してやって行くみたいな感じでやって行くなら行けるかなあと言う気がするんです。皆さんいかがでしょうか。

○委員

この絵をもう一回書きたかったぐらいこだわってるんやから裏表紙に表で出す環境はこれでやるんやからこっちに入れたら。

○会長

そこにナッキーちゃんとストッピーちゃんが一緒にこういてここを3Rの推進のこの中に。

○委員

ほんで市民の上のやつでね。市民上のやつでぐらいに入れるっちゅうのはええやなですかね。

○会長

で、どうしてもストッピーちゃんが使いたいのは環境だよと言う事をやって行きたい。で、かと言ってナッキーちゃんとケンカしちゃったら駄目なので仲良くこう真ん中でこう協力していく様な感じでやっ行って行けば上手く行くかなって気はするんですが皆さんいかがでしょうか。

○委員

もうひとつこれキャラクターないですか。キャラクター同士が手を繋いで。ひやわんはまた違うんですか。

○事務局

ひやわんはまた著作権が違いますね。名張市はひやわんの著作権を有していません。

○委員

裏表紙に関しては、これだけデザイナーやっちゅう事に今日初めて気が付いて、皆さんで協議する時間はもうないので、裏表紙は事務局が今の意見でこんなやつを入れてひやわんも3匹入れるか2匹かどうかは別にして、案を作って委員長にどや！っちゅうのを見てもおたらどうですか。

○会長

いやいや、皆さんに、これ1枚だけは、メールとか何かで送って頂ければ、一応外と言うか表はこれでこれをちょっと太文字にして頂いて裏は。

○委員

いや、全員にメールで送れるならまた。

○会長

裏は市民・行政・事業者でこう今の所、ストッピーちゃんとナッキーちゃん。これは性別何ってないか。ストッピーとナッキーがこう見える感じでやっ行く。それともうひとつゆるキャラがもしあるんだったらそれも見て良いと思いますが、ただ著作権とか何かで問題があるんだったらあれだけど。

○事務局

表表紙と裏表紙につきましては1月入りしましたら常時議会報告がありますけどもその後も最終本計画策定するまでで間に合います。

○会長

例えば大まかなあれはこうだよと言う事は決めて頂き、それからちょっとまだ16日が

市長に渡すと言う事なんです、じゃあちょっとさっきゆるキャラ来るまでにちょっと話をさせて頂きたいんですけども、こちらとしてはたかだか答申なんですけれどもこれが結構重いと見ているんですね。だから我々のこう審議会の今まで長くこう色々議論をしていたものがまあ言うところの1枚で全部示されるって言うても過言ではない物なので、この答申にちょっと私はこだわる所がありまして、まず確認をさせて頂きたいのは諮問の番号が間違っているのか間違っていないのか。多分間違いないと思うんですが諮問の番号の確認もして頂きたい。でそれからこれがまだ議会のあれを通してないので仮称素案とか色んなのがあるんですが、第3次名張快適環境プランこれが仮称素案に両方あるんですけども、素案これは鏡には仮称第3次名張何とか、うちがここで決めれば仮称取れるんですか

○事務局

そこの表現につきましてもちょっと確認させて頂きたいと思います。と言いますのはまず諮問させて頂きまして言う時には名張快適環境プランの諮問と言う事ではなしに、快適環境基本計画についての諮問をお願いしますと言う形で諮問をさせて頂いております。ですから当然答申も快適環境基本計画についてと言う表現になります。

○会長

ええ。ですから、もう一度確認して欲しいのが諮問には何が書かれていたのか。市長からの諮問に名張市快適環境基本計画第3次名張快適環境プランの策定なんやらと書いてたのかどうなのか、そこをちょっとお願いしたいんですね。

○事務局

ちょっと今から読み上げさせて頂きます。名生政第96号平成27年11月30日。名張市快適環境審議会会長様。この時はまだ朴先生がまだ会長と言う事が正式に決まっておられませんでした。名張市長亀井利克。タイトルが名張市快適基本計画について（諮問）。快適環境基本計画について。ですからこれは条例に繋がる快適環境基本計画を作るんですよと言う様な位置づけがあります。

○会長

じゃあだったらその通りに書いて（仮称）第3次名張環境快適環境プラン。

○事務局

名張市快適環境基本計画です。

○会長

諮問の時はまだ第3次名張快適環境プランなかったじゃないですか。

○事務局

ないです。

○会長

だから名張市環境快適、いや名張市快適環境基本計画について諮問を受けてるんですが、ここが答申をしていく訳でありますので私達としてのこの第3次名張快適環境プラン素案について答申は間違いじゃないですか？

○事務局

はい。

○会長

そうすると名張市快適環境基本計画、ただ私達はまだ取れてないけれど仮称として第3次名張快適環境プランについて議論をしている訳でしょうから答申にはそこをはっきり明記して頂かないと、うちは名張市快適環境基本計画のいわゆる第3次にあたいる新しいバージョンを作ってる訳なんです、その名前を第3次名張快適環境プランにしたと言う事じゃないですか？

○事務局

はい。そうです。

○会長

永遠に名張市快適環境基本計画変わらない訳でしょうから第3次4次5次であろうとこれは変わらないけど、我々がやってたものは第3次快適環境プランを今、答申をする訳なんですよね？ただこれがまだ仮称が取れてないので仮称と言う形にして行かなければならない。16日は。そうじゃないでしょうか？

○事務局

そうです。

○会長

ここの頭の所の部分をちょっとはつきり位置づけをして頂いて、後は1、2、3、4の所の部分にちょっと皆さんちょっと読んで頂いて、若干美しくないのは1が重い。4行か5行まであって2が第2項目が2行3行で3が4行5行がちょっとこう言う風にやっているんでそれは仕方がない事ではあるんですけども、もうちょっとこうスッキリさせる必要があるのか。あるいは想いを込めて1枚いっぱいになっても良いから書くんだと言う事なのかと言う事なんです、まず1からちょっと皆さん読んで頂いてこれはこれで長いけど良いよと言う事であればオッケー。2、3、4ちょっと読んで頂けますでしょうか？

ちょっと3番読んで頂く所でちょっと一緒にまた考えたい所が3番の再生可能エネルギーに関しては環境が所管ではなく産業か企画かどこかなんだけど、そこでもしこう光の問題だとか色んな問題で環境に各問題が生じたとしたら景観も含めてそれは我々の環境の所に来る、やるんでしょうか。要するにメガソーラーとか何とかやってるのはうちじゃなく企画とか産業ではないですか。

○事務局

産業の方です。

○会長

やっていくけどそこでもし何かの環境に関わる問題が発生したとしたら我々の所管になる
と言う事ですか？

○事務局

そうですね。

○委員

あの文章とかの問題ですけど2番のさっき指標に変えましたよね。

○会長

はい。

○委員

これを。あっ、目標項目か。すいません。目標項目は指標に合わせましたよね。ここ。項
目。ちょっと待ってくださいよ。ちゃうんか。

○委員

目標項目を指標に変えたんですけどもこの行そのものもやめようかと言うお話もさっきあ
りましたね。こう書いてしまうと。

○委員

ああ。そうですね。ここがまだ解決出来てないんですよ。

○委員

さっき委員さん言われた様な文章に直すと言う事で。

○委員

で、ほんだら続いて良いですか。だからそれならば、同じその2番で言うと、その上の行
に総合的な視点を持って計画的な実行に努めて頂きたいとこうずっと計画的であるんで、
計画的はいらんのやないか。総合的な視点を持って実行に、これ僕の提案も受けて頂いた
やつなんですけども、各ひとつの項目だけではあかんでと言うのを言いたかっただけなん
でここ計画的は文字少なくするためにも取ったらええんやないかって気がしますが。

○会長

これはどっちでも1番じっくりくる所で通じれば良いかなあと思ってますね。

○委員

続いて言わせてもらいますと、1番ですけど、これもちょっと僕が言わせてもらったやつなんやけど1番最後に環境政策を積極的に推進して頂きたい、情報発信を務めて頂きたいとあるんですけどその最後に、名張市総合計画へ関連する他のプランの整合を図り協調をして実行して頂きたいとここへ入れて頂いてんけど、この名張市総合計画や何とかを強調して実行して頂きたいを環境施策を積極的に推進して頂きたいの次に入れた方がええんやないか。こう大きな文章3つあるんですよ。3センテンスなんですよ。ほんで3番目のセンテンスを1の後に入れて最後に策定したプランは情報発信しろの方が。

○会長

私はそう言う事だったらば更には要らないんじゃないか？

○委員

ああ。更に要りません。

○会長

これは余計な事を言っているので、環境は環境でやって行くんだと言う事で整合性取りながらやって行くのは当たり前で場合によってはもっと進んでやって行く事がリードする可能性がてありますので、敢えて更にはちょっとなくても良いかなあと思いますね。

○委員

それから一気に3つ目まで言わせてもらいます。環境課題の中で現時点で結論を出す事って言うのは現時点でその是非についてっちゅうのはやっぱり入れんと結論と言うのは何を結論か分からへんので、その是非についての結論を出す事はこんなんの問題。やっぱりその通りなんですよ。エネルギー的にはええのか分からんけど事故やら景色やからって言うたら言うんでその是非ですね。本当に環境にとってええのか悪いのかですから、その是非について結論を出す事が出来る。これ文章が長なる方向やけど。

○会長

はっきりしてますね。

○委員

その3番目で言うと適切な、2行目の適切な管理についての議論がなされましたがこちらについてはって言う所はカットして、適切な管理についてはで良いんじゃないかなと思うんですけど。

○事務局

これ最初当審議会においてって言う文言が入っていたのを抜いたからこのまま議論残ってしまいました。そうですね。要らないと思います。

○委員

1番ですごくこの気になるのがまああれなんですけど、その1行目なんですけども本プラ

ンの実行に当たってはこの審議会の審議課題で出た意見を尊重するとともにってなっていますよね。それで、これはまあその通りなんですけれども要は審議会で審議して、ここでも総意でこのプランを出してる訳ですよ。にも関わらずこの意見を尊重しろって言うのはちょっと矛盾してる様な気がするんですよ。だから要はここでプランをちゃんと実効して下さいよって言う事でそのプランって言うのはこの委員会の総意で出来たものであるんでね。

○委員

そうや。その通りや。これ抜いたら字はほとんど減るな。目標とするから始まるんですね。

○会長

もうすごく良いですねえ。じゃあちょっと4つ目に関してもちょっとよろしいですか。

○委員

じゃあ4の、そしたらあの2行目の大体が「～たい」終わっていて文章の中で「その中で重要であります」ついてはってなっているのを、「重要であり」で続けたら頂きたいで全部でつながります。

○委員

で、同じく4つ目で学校や市民センターの受ける活動においてと言う事を書いてあるんで、これ場所を言ってるんで広く市民にこのテーマに取り組むちゅう事を出して行きたい。場所じゃなくて対象市民がまあその辺も必要じゃないかな思います。

○委員

これだと何か行政の役割に特化してほしいって言う風になってしまうのでどう書けば良いのかな。

○委員

場所はどこでも良いんですけどね。活動は。市民の要するに勉強活動をする。

○委員

場所言うてしまった。場所を言うてるんですね。学校と。教育の現場と地域の住民活動はと言う事で。

○委員

まあ言うてる事は分かるんですけど。

○会長

どうしよう。どう言う風にしましょうか。

○委員

だから要するに充分広く市民に環境をテーマにした取組を重視するとして行きたい。ここで言う取り組みって言うのは何でしょうか。環境をテーマにした取り組みって言うのは啓蒙等々の事言ってるんちゃうですか。

○事務局

啓蒙です。啓蒙、何かイベントを打つのもそうですし、環境対策の取り組みの積極的な実施であるとかそういった事を含めてと言う事ですね。

○会長

うん。今のままでも通じるは通じるんだけども、もうちょっとこうちょっとワンクッションちょっとこう高く入れて行きたいなあと思うのと大事なので。ここにちょっとだけ。

○委員

については学校教育や市民センター等活動において。活動において、広く市民を対象として、これちょっと多いかな。活動、環境をテーマにした取り組みを充実して頂きたい。学校教育や市民活動等活動。おけるおけるが2つありますからね。おいて。広く市民は入れんでええか。になる環境をテーマにした取り組みに充実して頂きたい。活動の現場でもええけどな。市民センター等の活動の現場において。教育の現場。活動の現場。

○会長

はっきり見えましたね。ちょっと上手く行ってる所で3のですね、1番最後のくだりなんです、規制や法整備この法整備は基本的には国しか出来ないもんじゃないですか？

○事務局

法と書いてしまうとそうですね。

○会長

あの自治体は法整備出来ませんので。

○事務局

法整備は出来ません。ここについては、条例と違って言う意味合いになってきますね。

○会長

規制や法整備、法整備の意味をちょっと考えないと。これはもう越権行為も良い所です、出来ません。

○事務局

そうですね。法整備にしてしまうとこれは。

○会長

例えば名張のお酒で乾杯する条例とかはこれ幾らでも出来ますし、この前お菓子で何とかするってのはありませんでしたか。それはとっても面白いなあつつつ見てるけどこれは出来るけど、この部分ちょっと私分からない。法務の方はちょっと。

○事務局

はい。ちょっとその部分、適正な言葉を関係担当部署の方に確認させて下さい。市の市で出来る条例であるとか規則であるとかそういった事の意味合いと言う事で分かる様に変更します。

○委員

突然規制とだけ言うたら何かトーンがちょっと違うから。これ全体に。

○委員

規制は条例を意味されてる。

○事務局

そうですね。規制って言う事になれば条例であるとか要綱であるとか。規制もねえ。そう言うところ、そこもちょっと検討が必要です。

○委員

だから全体通してなんですけども、要は行政でやる事やって下さいねって言うのを言って、それでそれに対しては例えば最後は市民に対してもまあこう言うのをやってもらう様に市でやって下さいねっちゃうのはあるんですけども、この中にあった事業者に対してって言うのがないんです。だから例えばもしやるんであれば3番で市として出来るんであれば行政指導とかですね、そういう事になってくるとは思うんですよね。

○委員

そやな。行政指導等と言うのを入れてもええか分からんなあ。「についても検討して頂きたい」とね。規制と法整備を行政指導。

○会長

やるのは市民は個人個人は出来ないものね。なるほど。

○委員

あのただ行政指導は適切なんですけど法整備はクエスチョンマークと言う事で。あの条例でも良いですから要する規制と言う部分はですね、やはりなにかで入れて頂きたいなと私は思うんですけどね。

○会長

だからちょっと法務にちょっと聞いてその辺の表現を。

○事務局

はい。ちょっとその辺の言葉の定義と言うのを確認させて頂きまして適切なちょっと言葉を上げさせて頂きたいと思います。

○委員

規制には指導やったら特に問題はないと思うんですよね。法整備は絶対に無理なんで。

○会長

じゃあそしたら皆さんのおかげで若干市は仕事が多くなったけど、でもこれは嬉しい仕事だと思って頂いてより良い物を作ってこれを手に取った皆さんがやる気が出たとか、良く出来たと言う事で報われるんだと思っていますのでちょっと頑張っ頂きたいなと思っています。で最後にですね、12月16日11時30分からと言う事をちょっと皆さんにちょっと。

○会長

11時。だったら11時に例えばこれ会長だけ行くのじゃなくてもし日にちが決まっちゃってしょうがないけれども、時間がちょっとこう使える方30分くらいで終わっちゃいますので。

○事務局

そうです。30分と言うもう時間限定なっちゃうんですね。

○会長

そうですね。でして頂いて一緒に市長にちょっと私たちの思いも伝えて私のこれとこれとでこうお願いしますと言う事で市長から良くやったねとか色々な話があつて、だけれどもこの文章では表せない色々な部分をちょっと組んで頂きたいなっていうことを話して行く事なんですけど、1つ当たり前なんですけれどもこの前ちょっと私別件で市長と市の皆さんの考え方若干ズレがあるなと思ったの1つあつてちょっと敢えて申し上げるんですけど、韓国のスウォン市と言う水の原と書く170万で最近ちょっと問題があるサムソンの電子を培養はちょっとどこか行っちゃったのかな？培養はあるのかな？電子培養とかそういう拠点があそこにはあつて結構お金はある街であります。そこに何年前からずっと名張の中学高校生を市がお金をちょっとこう渡航費を負担して、向こうからは向こうに空港に着いてからの滞在費とか色々な物全部向こうが持ってまた空港まで連れて来て空港からはこっちに来るまでは私たちのお金がかかるんですけどけれども、市がそういう様な形で国際交流にみんなでお金をかけてやって行って、この前も7月26日から29日まで3泊4日でしたが名張の中学生4人、近大高専の子ども、子どもと言うか高校生と言うあれ4人、で先生2人、そういう風に行ってきました。そこで同じような事がまた若干名張市もちょっと緊張感持たないといけないのが、良いと言われるとまた亀山もやろうと言って亀山もお金については急な事だから4人、で先生1人分でそういう風な形で出しました。それで問題が何かって言うと向こうは呼べ呼べと言って、バーッと読んで大した事でもないのに、行ってきます、ああします、こうしますと言う事でワーワーと乗りました。でテレビにも

出ました。でこっちは若干ちょっと日韓関係本当に仲悪いんでこの方々、大阪近いからかちょっと反対があつて子ども達に悪い影響があつたらどうかと言うちょっと配慮があつたんだろうと思うんですが、呼ばなかつたんですよ。それでちょっと行ってきまーす、そうしますって言つても帰つてきて帰つて来ましたって報告もないのも変なんだけど私から見ると。日程が合うの合わないのあつたかもしれないけど、でも亀山はちゃんと全校生集めて亀山高校とか何とかでアーッとやつてるんですけども、その差がどこにあるのかつて言うのがちょっとあつたんですが、前どこでやつたのか亀井市長に会つた時に、おお、亀山も行ったのかと言う事を言つたからどこで分かつたんだろうと言つたから多分新聞テレビラジオ見たんだろうと思うんですけども、ちょっと名張市はちょっと日韓関係がちょっとあれなのか子どもに影響があるかもしれないと言う事でメディアが呼ばなかつた聞きましてけれどつて言つたら、そんな事ないよと言う風に言つていました。でそれは市長が間違つて考えているのか皆さんがちょっとオーバーし過ぎてやつてるのか分からないけど、例えば何かがあつて私をこう駄目だと言つてれば良いものを子ども言つてる子どもが悪いと言う風に言うのはこれおかしい話で真ん中にいる私が悪いと言う事幾らでも良いんですけども、子どもに悪いと言う事を言う様な名張の市民いない様な気もするんですけども必要以上にガードが固くてそう言う事言わないんですよ。それで今回はそれとちょっと違う話かもしれないけどこのまま平成38年まで所々変えるんだとしても環境に関する基本的な事は出来てる訳だから我々がどう言う思いでやつてるのかと言うのをまず記者クラブに投げて頂きたい。そこで記者誰も来なかつたならばそれはしょうがない事なんですけどれども、そう言う風にメディアを通じてこれは出来たよとかそう言う事を伝えた方がいいと思いませんか。

○事務局

今、朴先生が会長さんからお話ありました16日の答申の日につきまして当然プレスへの発表資料提供で記者クラブの方には情報を私は本日もこの会議も全てオープンとさせてもらっています。

○会長

これはもう私たちの議論だから。

○事務局

記者クラブの方に情報をお渡しさせて頂きまして、来て頂ける所があればなお良いかなと言う風な事で私は思わせてもらってます。

○会長

そう言つた時を想定して1人では私もちょっと淋しいんで皆さんちょっと色々な都合があつてその日まで色々なこう計画とか色々な答申あるんですか。

○事務局

そうですね。11時から快適環境プランの答申をして頂きます。それで11時半から人権男女共同参画の基本計画の答申と言う事で同じ地域環境部の人権男女共同参画室の方で今

作業をして頂いているのですが、でもそちらと同日になります。11時から12時の間で2つの答申を。

○会長

分かりました。

○委員

会場はどこですか。

○事務局

会場は市長の応接室になります。

○会長

そうですね。で違った審議会とかの事一緒にする事絶対出来ませんので、ずらしてやって行くんだと思いますが。是非ともメディアが来るか来ないか別にして市長に私たちの思い色んな部分をちょっと直に言えるチャンスでもありますので是非とも時間を作って11時ですから10分前には来た方が良いでしょう。

○事務局

そうですね。10時50分ぐらいのご参集と言う事で市長室の前にお集まりいただければ。市長室もこの前ですけれどもこちらへお集まり来て頂ける方につきましてはお集まり頂ければと。

○会長

そこにちょっとお願いがあるのは市長にはちょっと悪いけどカラーでちょっと渡して頂けませんか。白黒だとちょっと気がめっちゃうので市長にはちょっとこう我々は白黒全然問題ないんですけども。

○委員

ちょっと白黒つけるって言う意味で。

○会長

いや、カラーの方が良い。白黒つけましょうか。

○委員

会長さっきの話言うとね、ほんだらさっきの1行目にね、策定したプランその進捗について公表公開をですね、ここにあって広く内外にと入れませんか？さっきの話も。その1の所にね、色んな広報足らんのちゃうかと今話ありました素案との。

○会長

ここ、効果的など書いてありますので。

○事務局

当然、策定なった時はですね、そういったPRアピールをですね、情報発信は色んな形で具体的にちょっとまだどう言う形と言う事はお示し出来ませんが、積極的な形で。

○会長

名張はやっぱり平和だよ。うん。メディア使わないと損だよ。別に悪い事してるんじゃないのでとってもこんな良い物が出来たとかそういう感じで。

○事務局

この後審議、ご協議頂きますこれも合わせての発表と言う風な形で。

○会長

あつ。これも一緒につくんですね。

○事務局

答申の時はこれは今回は関係ないんですけど。

○事務局

最終出来上がった物を公表させて頂くのは合わせて公表をして行かしてもらえるかなと考えてます。

○会長

で、ここもこの前ちょっと言った様にここをストッピーちゃん？何ちゃん分からないけどここ。

○事務局

この後のですね、また会議につきましてまたメンバー入れ替えさせて残り時間少ないんですけどもこの後引き続きですね、ちょっとまたご協議を頂ければと思います。

○委員

あのですね、これコピーしてもらった方が良かったんやけどね、僕、実はですね、2つ提案がありましてね、何かこう委員会、委員全員合意の委員会答申がこれで今決まる訳ですけども、委員各自の個人意見を付けて答申するのはいかがでしょうと言う風に提案さしてもうてるんです。僕の環境に対する思いを僕は書きたいと。で、各皆さんも書いてもうたらどうやろうと言う風に。答申の付属文書で。

○会長

いや、それは無理ですね。

○委員

無理ですか。

○会長

例えば、市長に個人的にビラを配るそれは全然問題ないんですが、あれはうちはこれは総意を持って決めてる事でありますので。そこで、これだけで要するに答申とこれでこれ正規な文章でやっていて後はもう委員さん持って来るのが。

○委員

分かりました。で、あのいずれにしる僕の言いたかったんはですね、これ朴先生って本当に上手に進めて頂けたと思うんですけど、やっぱりこう何か非常にですね、変な言い方ですけどやっぱり個人個人みんなやっぱり俺こう思うのになあとか言う所あると思うんですよ。で、一番最初に本来は第1回委員会でこんなアイスブレイキングと手の内拝見を含めて自己紹介してスタートするのが良かったなあ、あっ、こう言う事考えてる人かてだんだん後から分かってくる訳ですが、で、そんな事から言うたら今回終わって僕はどんな事思ったって言うのを、ほんだら市長に出さんでもこの中だけでもですね。

○会長

一杯飲みましょうか？じゃあ。

○委員

変な他を悪口言う訳やないですけど、僕1人ここ公募委員です。総合計画も1人だけ、総合計画は2人やったかな。公募委員やったけど、総合計画の時はもうやっぱり圧倒的に少数意見であるのは承知で話してたんやけど、パブリックコメントにも僕の意見は載らないわ、これはもう議事録にはありますって言われたんですけど。議事録そんなんってそんなんって言われたらこれそんなんでもものすごくストレス残しましてね、ほんでまあ。

○会長

今回もストレス残ってます？

○委員

えっ？

○委員

ほんで僕書いてます。今回は非常にはるかその時よりはるか信頼と親しみで進行頂いた委員会であったがと言う風書いてあります。

○会長

おー。

○委員

と言うので個人意見っちゅうのは何らかの形で残せへんのかなあ？と言う風に。答申と言

う意味ではなくって。

○会長

答申はこれだけ正式な文章だけありますが、もしいらしてるのであのちよっとう A4 でも何かで市長さんに渡すのはもうこれは全然やぶさかじゃない。

○委員

ほんでみなさんが結果どう思ったかって言うのこれこんねして別にあんまり聞かへん、今後聞かへんので、と言う意見ももうたらええんやないか。

○会長

1回ちよっとうちよっとう飲み会がオフレコだけでもコーヒーでも飲みながらとにかく話をしましょうか？

○委員

それは大歓迎ですけどね。あっ。それからもう1つ、事務局に確認しといて欲しいっちゅうたんですが、せっかくこんなスタートしてる時にですね、前も言いましたけど環境の名張市主体の環境快適環境シンポジウムっちゅうのは？

○会長

あっ、1回ぐらいちよっとう考えましょう。

○委員

朴先生座長でやってもらって。

○会長

うん。何でもとにかく良いタイミングを見計らって新しい基本計画の第3次が出来た、ここはみんながパートナーなんだけどリーダーになれるぞっとう事を市長を副市長より市長の方が1番トップとして受け取りましたと言う事なんです、ただこれは総合計画じゃない一つのパートであるものにどこまでやるか分からない部分があるんですが、環境に関する良いタイミングがきっとあると思うんで、そう言った時にちよっとうくっつけてやって行くのも一つの手かなあと言う風に思いまして、その時にはこう委員の皆さんがパネリストで思いっきり思いをぶつけるのも良いと思っていますので何かちよっとうそういう計画も。

○事務局

そう言う事も本当にしていかにしてもらう事が重要なあっとう風な事は考えさせてこれからですね、してどう出来るかって言うのをね、ちよっとう考えて行きたいなと言う風な事では。

○会長

そうですね。

○事務局

今の所ではまだイメージはないんですけども、本当に委員さんからご意見を頂いております。

○会長

きっと何か良いチャンスがあると思います。

○事務局

ただ単にホームページに流すやるとか情報発信する一般的なやり方って言う事を以外に何かそういったきっかけを作れたら。

○委員

そうそう。答申して終わりやなしに。

○事務局

うん。何かの機会にそういった事をですね、情報発信できるですね機会を設けられたらなと言う風な事ではちょっと検討して行きたいと考えています。

○委員

何回とシンポジウムの打ち合わせやりましたから。

○会長

ありがとうございます。

○委員

その1点だけ教えて下さい。すいません。この中で良いんですけど、地域らの本当に途中からです。名張市の空き家対策推進協議会これが始まってます。そこであつたんですけど、それを見てその環境とこれっちゅうのはある程度連動してきますよね。

○事務局

連動してきます。

○委員

その辺をこれ具体的にはどうだったんだろう。

○事務局

今空き家多分会議の中では説明はなかったのかもしれませんが、空き家バンクに今、法がそういう制度が出来ています。当市でも十何軒、十数軒の登録がありまして、私もこの間から概要ちらっと聞かせてもらって十何軒登録されてて今4軒活用されてる。

○委員

はい。それは聞いてます。分かりました。その辺また検討してから。

○事務局

ありがとうございます。では快適環境プランのご審議につきましてはこれで終了いたします。